

年間授業計画

科目名 (単位数)	世界史B(3)	教科書:世界史B新訂版
対象学年	1	副教材1:歴史風景館 世界史のミュージアム
履修形態	必修	副教材2:世界史B 新訂版 演習ノート
講座数	7	副教材3:
科目の目標	世界史の展開を理解し、多面的、多角的な考察ができるようになる。 歴史に学び現在に生かす、歴史的思考力を養う。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	世界史概要 世界史概要 近世ヨーロッパ世界の形成① 近世ヨーロッパ世界の形成② 近世ヨーロッパ世界の形成③ 近世ヨーロッパ世界の形成④ 近世ヨーロッパ世界の形成④ 近世ヨーロッパ世界の展開① 中間考査	古代ヨーロッパ世界 中世ヨーロッパ世界 大航海時代とその影響 ルネサンスの本質と作品理解 宗教改革の背景・経過・結果・影響 主権国家体制の形成① 主権国家体制の形成② 重商主義政策 中間考査
1学期期末 (39)	近世ヨーロッパ世界の展開② 近世ヨーロッパ世界の展開③ 近世ヨーロッパ世界の展開③ 近世ヨーロッパ世界の展開④ 近世ヨーロッパ世界の展開⑤ 世界史概要 期末考査 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	イギリス革命と議会政治の確立 フランスの絶対王政・啓蒙専制君主 啓蒙専制君主と東欧の動き ヨーロッパ諸国の海外進出 17～18世紀の文化と社会 学期のまとめ 期末考査 産業革命の背景・経過・影響
2学期中間	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の成立 欧米における近代国民国家の成立 欧米における近代国民国家の成立 欧米における近代国民国家の成立 欧米における近代国民国家の成立 アジア諸地域の動揺① 中間考査	アメリカ独立革命 フランス革命 フランス革命とナポレオン ウィーン体制の成立 ウィーン体制の崩壊 ヨーロッパの再編 新しい統一国家の誕生 南北アメリカの発展 西アジアと南アジアの動揺 中間考査
2学期期末 (42)	アジア諸地域の動揺② アジア諸地域の動揺② 帝国主義とアジアの民族運動① 帝国主義とアジアの民族運動② 期末考査 帝国主義とアジアの民族運動③ 二つの世界大戦① 二つの世界大戦② 二つの世界大戦③	東アジアの動揺① 東アジアの動揺② 帝国主義と列強の展開 アフリカとラテンアメリカの分割 期末考査 アジア諸国の改革と民族運動 第一次大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下のヨーロッパ諸国 アジア・アフリカの民族運動
3学期 (24)	二つの世界大戦④ 二つの世界大戦 冷戦と第三世界の独立 世界史概要 オリエントと地中海世界 オリエントと地中海世界 オリエントと地中海世界 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 イスラーム世界の形成と発展 学年末考査 イスラーム世界の形成と発展	世界恐慌とファシズムの台頭 第二次世界大戦 冷戦 現代とのつながり 古代オリエント世界・ギリシア世界 ヘレニズム・ローマ世界 ローマ世界 東アジア文化圏の形成 内陸アジア世界・東アジア世界 イスラーム世界の形成と発展 学年末考査 イスラーム化と現代社会
評価の 観点と 方法	①「関心・意欲・態度」・・・授業への取り組み状況や発表・提出物等で総合的に評価する。 ②「思考・判断・表現」・・・年5回の定期考査での評価や課題・提出物等で評価する。 ③「資料活用 of 技能」・・・定期考査の評価や課題・提出物等で評価する。 ④「知識・理解」・・・定期考査の評価や小テスト等を総合的に評価する。	
	以上の観点から総合的に評価を行う	

年間授業計画

科目名 (単位数)	世界史B(4)	教科書:世界史B
対象学年	3	副教材1:歴史風景館 世界史のミュージアム
履修形態	選択	副教材2:ウイニングコンパス
講座数	2	副教材3:
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	オリентと地中海世界 オリентと地中海世界 オリентと地中海世界	古代オリент世界 古代オリент世界・ギリシア世界 ギリシア世界
	オリентと地中海世界 オリентと地中海世界 オリентと地中海世界 中間考査	ヘレニズム・ローマ世界 ローマ世界 ローマ世界・南北アメリカ文明 中間考査
1学期期末 (52)	アジア・アメリカの古代文明 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 アジア・アメリカの古代文明 イスラーム世界の形成と発展	中国の古典文明 東アジア文化圏の形成 内陸アジア世界・東アジア世界 インドの古典文明、東南アジアの諸文明 イスラーム世界の形成
	期末考査 イスラーム世界の形成と発展	期末考査 イスラーム世界の発展、イスラーム化
2学期中間	ヨーロッパ世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	西ヨーロッパ世界 東ヨーロッパ世界 西ヨーロッパ中世世界の変容 西ヨーロッパ中世世界の変容 宋・モンゴル帝国 宋・モンゴル帝国
	アジア諸地域の繁栄 アジア諸地域の繁栄 アジア諸地域の繁栄 中間考査	明・清 明・清 明・清 中間考査
2学期期末 (56)	帝国主義とアジアの民族運動 帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 二つの世界大戦 二つの世界大戦 冷戦と第三世界の独立 期末考査 総合 総合	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 第一次世界大戦とロシア革命 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 第二次世界大戦 冷戦 期末考査 問題演習 問題演習
	総合 総合 総合 総合	問題演習 問題演習 問題演習 問題演習
3学期 (32)		
評価の 観点と 方法	関心・意欲・態度:授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 知識・理解:定期考査や小テスト等 思考・判断・表現:授業での取り組み状況、定期考査や小テスト等 技能:授業での取り組み状況、定期考査や小テスト等	
	以上の観点から総合的に評価を行う	

年間授業計画

科目名 (単位数)	世界史演習(2)	教科書:詳説世界史B
対象学年	3	副教材1:歴史風景館 世界史のミュージアム
履修形態	選択	副教材2:
講座数	1	副教材3:
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性や複合性と現代世界の特徴を多面的・多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	センター過去問演習	演習と解説、問題傾向の解説
	近世ヨーロッパ世界の形成 中間考査 近世ヨーロッパ世界の展開	ヨーロッパ世界の拡大、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の形成 重商主義と啓蒙専制主義、欧諸国の海外進出、17・18世紀欧の文化と社会
1学期期末 (26)	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展 アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動 期末考査	産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命とナポレオン ウィーン体制の成立、欧の再編と国家誕生、南北米の発展、19世紀欧米の文化 オスマン帝国の支配と動揺、南・東南アジアの植民地化、東アジアの激動 帝国主義と列強の展開、世界分割と列強対立、アジア諸国の改革と民族運動
2学期中間	二つの世界大戦 冷戦と第三世界の独立 現代の世界 先史の世界・オリエントと地中海世界 アジア・アメリカの古代文明 中間考査	第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ地域の民族運動、世界恐慌とファシズム諸国の登場、第二次世界 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立、米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興、第三世界の台頭と米ソの歩み寄り、石油危機と世界経済の再編 社会主義世界の変容と、グローバリゼーションの進展、途上国の民主化と独裁政権の動揺、地域紛争の激化と深刻化する貧困、現代文明の諸特徴 古代オリエント世界、ギリシア世界、ローマ世界 インドの古典文明、東南アジアの諸文明、中国の古典文明、南北アメリカ文明
	2学期期末 (28)	内陸アジア世界・東アジア世界の形成 イスラーム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 アジア諸地域の繁栄 期末考査 総合問題
3学期 (16)		
評価の 観点と 方法	関心・意欲・態度:授業に取り組む姿勢や態度、課題の達成度等 知識・理解:定期考査や小テスト等 思考・判断・表現:定期考査や小テスト等 技能:授業中の取り組み状況、定期考査や小テスト等 以上の観点から総合的に評価を行う	

年間授業計画

科目名 (単位数)	日本史B(3)	教科書:詳説日本史B(山川出版社)
対象学年	2	副教材1:日本史のライブラリー(とうほう)
履修形態	必修	副教材2:
講座数	7	副教材3:
科目の目標	<p>原始・古代から近代・現代までを基礎的な事柄を中心に総合的に考察させる。 各時代の特徴を明確にとらえさせる。 国際人としての歴史的な思考力や創造力を育成し、日本の伝統を重んじる資質を養う。</p>	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	日本文明のあけぼの	旧石器時代の特徴 縄文時代の特徴 弥生時代の特徴 小国及び邪馬台国の成立過程 古墳時代の特徴 ヤマト政権の成立 氏姓制度と部民制度 推古朝の政治 大化の改新
	古代国家の成立 ヤマト政権の成立 律令国家の形成	天智・天武・持統朝の政策と文化 奈良時代、聖武・孝謙朝の政策と文化 平安時代、桓武・嵯峨朝の政策と文化 摂関政治 国風文化 明治維新 自由民権運動 明治の日本と国際関係
1学期期末 (39)	貴族社会と国風文化 近代の日本	
2学期中間	中世社会の成立 武家社会の成長	荘園公領制と武士の出現過程 鎌倉政権の成立過程 執権政治の展開 宋・元との関係、鎌倉仏教 元寇と得宗専制 鎌倉幕府の滅亡と室町幕府の成立 明・朝鮮・琉球との外交・貿易 応仁の乱とその影響 室町幕府の衰退
	武家社会の成熟	
2学期期末 (42)	近世の幕開け	下克上・戦国大名の領国支配 ヨーロッパ世界との接触 織田信長の統一過程・政策 豊臣政権の成立過程・政策
	近代の日本	20世紀の日本と国際関係 第二次世界大戦と日本
3学期 (24)	幕藩体制の成立 幕藩体制の展開	徳川政権の成立過程 幕藩体制の特徴 初期外交とキリスト教・鎖国体制の成立過程 幕政の展開 経済の発展 幕政の改革 幕府の衰退 開国と幕末の動乱
	幕藩体制の動揺 近代国家の成立 現代の日本	敗戦と戦後改革 経済復興から高度成長の時代 現代日本と国際社会
評価の 観点と 方法	<p>歴史的な基礎知識を理解・修得し、考察力や判断力を身につけたか。 定期考査・授業態度などの平常点を勘案し、総合的に評価する。</p> <p style="text-align: right;">以上の観点から総合的に評価を行う</p>	

年間授業計画

科目名 (単位数)	日本史B(4)	教科書:詳説日本史B(山川出版社)
対象学年	3	副教材1:最新日本史図表(第一学習社)
履修形態	選択	副教材2:ウィニングコンパス日本史の整理と演習
講座数	4	副教材3:
科目の目標	近世・近代・現代の授業を中心に、より詳細な内容を取り扱い、総合的な考察力を養う。 大学受験に対応できる学力を身につけさせる。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	幕藩体制の確立 幕藩体制の展開 幕藩体制の動揺 幕末の動乱と新政府の成立	戦乱の世の終結と江戸幕府の成立 武断政治から文治政治への転換とその展開 経済の発展とそれによる社会の変化 幕政改革の背景と展開、その成果と影響 幕府の衰退と外圧 幕府の崩壊と明治新政府の成立
1学期期末 (52)	富国強兵政策の展開 自由民権運動と立憲国家の成立 #REF! 日清・日露戦争 #REF! #REF! #REF!	明治政府による上からの近代化政策 自由民権運動の展開 明治憲法の制定と初期議会政治の展開 #REF! 日清・日露戦争と国際関係 日本の植民地政策 #REF! #REF! #REF!
2学期中間	近代産業の発展 第一次世界大戦と日本 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦と日本 占領と改革	近代産業の発展と社会問題の発生 第一次世界大戦と日本の関わり 戦後の国際協調体制とその破綻 戦後相次いだ恐慌と政府の政策 軍部の台頭から軍部独裁への過程 大陸侵略の開始とその展開 満州事変・日中戦争・アジア太平洋戦争 敗戦と占領政策の展開、日本の民主化
2学期期末 (56)	冷戦と講和 高度経済成長 経済大国への道 入試問題演習 入試問題演習 入試問題演習 入試問題演習 入試問題演習 入試問題演習	冷戦の開始による占領政策の転換 講和と安保体制 55年体制の成立と安保改定、高度経済成長 ドルショックとオイルショックから経済大国の実現 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習
3学期 (32)	入試問題演習 入試問題演習 入試問題演習	センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習
評価の 観点と 方法	歴史的な基礎知識を理解・修得し、考察力や判断力を身につけたか。 定期考査に加え、中テスト・小テストを適宜行い、総合的に評価する。	
以上の観点から総合的に評価を行う		

年間授業計画

科目名 (単位数)	日本史演習(2)	教科書:詳説日本史B(山川出版社)
対象学年	3	副教材1:最新日本史図表(第一学習社)
履修形態	選択	副教材2:ウィニングコンパス日本史の整理と演習
講座数	1	副教材3:
科目の目標	原始～近現代に関するより詳細な内容を理解させ、総合的な理解力・考察力を養う。 入試問題演習を通じて大学受験に対応できる学力を身につけさせる。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	原始を中心とした問題演習 古代を中心とした問題演習	センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習
	古代を中心とした問題演習 古代を中心とした問題演習 古代を中心とした問題演習 古代を中心とした問題演習	センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習
1学期期末 (26)	古代を中心とした問題演習 近世を中心とした問題演習 近世を中心とした問題演習 近世を中心とした問題演習 #REF! #REF!	センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 #REF! #REF!
	近代を中心とした問題演習 近代を中心とした問題演習 近代を中心とした問題演習 近代を中心とした問題演習 近代を中心とした問題演習 近代を中心とした問題演習	センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習
2学期期末 (28)	#REF! テーマ史・総合問題を中心とした問題演習 現代を中心とした問題演習 テーマ史・総合問題を中心とした問題演習 #REF!	センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習
	テーマ史・総合問題を中心とした問題演習 テーマ史・総合問題を中心とした問題演習	センター試験対策・大学入試問題演習 センター試験対策・大学入試問題演習
3学期 (16)	センター試験過去問演習	センター試験対策
評価の 観点と 方法	歴史的な基礎知識を理解・修得し、考察力や判断力を身につけたか。 定期考査に加え、小テストを適宜行い、総合的に評価する。	
以上の観点から総合的に評価を行う		

年間授業計画

科目名 (単位数)	地理B(2)	教科書:新詳地理B
対象学年	1	副教材1:最新地理図表GEO
履修形態	必修	副教材2:
講座数	7	副教材3:
科目の目標	基礎的な内容を中心に扱い、生徒に対して地理への興味・関心を保たせる。 地理全般について、系統的な理解を深めるような指導を行う。 国際化する社会に目を向けるため、世界各国への理解を深めるよう指導する。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	世界の国家 国家としての日本 世界の国境・民族・領土問題 発展途上国の人口問題 先進国の人口問題 日本の人口問題(1) 日本の人口問題(2) 世界の宗教 宗教と生活	世界の国々の地域区分 日本の領土問題 国境・民族・領土問題の原因と現状 発展途上国の人口問題の要因 先進国の人口問題の将来像 日本の人口問題の要因 日本の人口問題の将来像 世界宗教の広がり 生活・食生活にあらわれる宗教
	農畜産物の生産・流通(1) 農畜産物の生産・流通(2) 世界の中の日本の農業(1) 世界の中の日本の農業(2) 世界の気候(1) 世界の気候(2) 都市問題 環境問題	小麦・大豆・とうもろこし等の生産・流通 小麦・大豆・とうもろこし等の生産・流通 日本で食べられる食料の自給率 日本の農業と世界の農業の関連性 熱帯・乾燥帯の特色 温帯・冷帯・寒帯の特色 世界の都市問題の要因と対策 世界の環境問題の要因と対策
(26)		
2学期中間	東南アジアの概要 東南アジアの歴史・多様性 ASEAN諸国 南アジアの概要 インドとヒンドゥー教 インド農業 東アジアの概要 中国農業 中国鉱工業の発展	東南アジアの自然・文化・経済 東南アジアの文化の多様性の歴史 ASEAN諸国の現状から未来へ 南アジアの地域性の差異と歴史 ヒンドゥー教からみたインド インド農業とカースト制度 東アジアの自然・文化・経済 中国農業の現状 世界からみた中国経済の現状
	中国と世界 アメリカ合衆国の概要 アメリカ合衆国の農業 アメリカ合衆国の鉱工業 ヨーロッパの概要 ヨーロッパの農業 ヨーロッパの鉱工業 EU連合(1) EU連合(2) ヨーロッパの歴史	中国の発展と世界経済の関連性 アメリカの自然・文化・経済 アメリカ農業の現状と問題点 アメリカンスタンダードとしての鉱工業 ヨーロッパの自然・文化・経済 ヨーロッパ農業の現状と問題点 世界から見たヨーロッパ鉱工業の現状 EU連合の歴史と将来像 イギリスのEU離脱と世界経済 ヨーロッパの古代から現在までの歴史
(28)		
3学期	オセアニアの概要 オーストラリアの概要 オーストラリアの農業 オーストラリア鉱工業 韓国の全体像(1) 韓国の全体像(2) 台湾の全体像(1) 台湾の全体像(2)	オセアニアの自然・文化・経済 オーストラリアの自然・文化・経済 オーストラリア農業の現状と将来 オーストラリア鉱工業の現状と将来 韓国の歴史・文化 韓国の経済 台湾の歴史・文化 台湾の経済・将来性と中国との関係
	東京都(1) 東京都(2) 東京都町田市	東京の発展 東京オリンピックを中心に据えた世界と日本の関連性 町田市の地理
(16)		
評価の 観点と 方法	授業に興味をもち積極的に学んでいるかをみる。 レポート・課題などの取り組みや提出状況を見る。 ノートのとりかたを指導し、ノート点検を行う。 4回の定期考査の成績。	
	以上の観点から総合的に評価を行う	

年間授業計画

科目名 (単位数)	地理B(2)	教科書:新詳高等地理B
対象学年	3	副教材1:最新地理図表GEO
履修形態	選択	副教材2:
講座数	1	副教材3:
科目の目標	受験から一般教養まで対応する授業を展開する。 地理全般について系統的・地誌的な理解を深めるよう指導を行う。 世界各国の生活・文化・環境を理解させ、地理的な見方・考え方を育む。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	世界の国家 日本の国家と領土 世界の領土問題 東アジアの概要 中国農業の現状(1) 中国農業の現状(2) 中国鉱工業と発展 東南アジアの概要 東南アジアの歴史と多様性	世界各国の地域区分 日本の領土問題 世界の領土問題の原因と現状 東アジアの自然・文化・経済 巨大な人口を抱える中国農業 世界の農業と中国政府の貿易 世界の工場としての中国 東南アジアの自然・文化・経済 東南アジア文化の多様性の歴史
	ASEAN諸国 南アジアの概要 ヒンドゥー教からみたインド インド農業 インド鉱工業 世界の環境問題 世界の気候(1) 世界の気候(2)	ASEAN諸国の現状と未来 南アジアの自然・文化・経済 ヒンドゥー教の発想とインド インド農業とカースト制度 遅れてきた巨人インドの発展性 世界の環境問題の具体性 熱帯、乾燥帯の特色 温帯、寒帯、冷帯の特色
(26)		
2学期中間	世界の宗教 宗教と生活の関わり アフリカの概要 アフリカの農牧業 ヨーロッパ概要 ヨーロッパの歴史 ヨーロッパ農業 ヨーロッパ鉱工業 EU連合	世界宗教の広がり 生活にあらわれる宗教観 アフリカの自然・文化・経済 アフリカ農業の現状と問題点 ヨーロッパの自然・文化・経済 個から全体のヨーロッパの歴史 ヨーロッパ農業の現状と問題点 世界からみたヨーロッパ鉱工業の現状 EU連合の歴史と将来像(難民受け入れ)
	西アジア～アラビアの概要 西アジア～アラビアのイスラム教 西アジア～アラビアの農業と自然 OPEC アンゴロアメリカの概要 アメリカ合衆国の農業 アメリカ合衆国鉱工業と発展 ラテンアメリカ概要 ラテンアメリカ農業 ラテンアメリカ鉱工業	西アジア～アラビアの自然・文化・経済 拡大するイスラム社会 乾燥気候と農業 石油戦略とOPEC アンゴロアメリカの自然・文化・経済 適地適作農業と世界戦略 アメリカンスタンダードとしての鉱工業 ラテンアメリカの自然・文化・経済 ラテンアメリカ農業の現状と問題点 ラテンアメリカ鉱工業の現状と問題点
2学期期末		
(28)		
3学期	オセアニアの概要 オーストラリア農業の農業 オーストラリア鉱工業	オセアニアの自然・文化・経済 オーストラリア農業の現状と未来 オーストラリア鉱工業の現状と未来
3学期		
(16)		
評価の 観点と 方法	授業に興味をもち積極的に学んでいるか。 授業中に課題学習に取り組んでいるか。 定期考査・小テスト・課題等の成績で評価する。	
	以上の観点から総合的に評価を行う	

年間授業計画

科目名 (単位数)	現代社会(2)	教科書:現代社会(東京書籍)
対象学年	3	副教材1:最新 図説 現社(浜島書店)
履修形態	必修	副教材2:
講座数	7	副教材3:
科目の目標	<p>社会の仕組みや実際の姿を学ぶ。 世の中で意見の対立のある課題について、知識を得、自分なりに考える。 よりよい社会を作っていくために、公民としての能力を高める。</p>	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	<p>18歳選挙権を前に学んでおこう 資源エネルギー問題を考える</p> <p>民主政治とは 日本国憲法の基本原理</p>	<p>政治との関わり、日本の選挙制度 資源エネルギー問題、将来への課題</p> <p>民主政治の仕組みと現実の政治 大日本帝国憲法の成立過程と基本原理 日本国憲法の成立過程と基本原理</p>
1学期期末 (26)	<p>日本国憲法の基本原理 続き</p> <p>日本の政治機構</p>	<p>平和主義について理念と現実 日本をめぐる戦後の国際関係 日本国憲法における基本的人権の保障</p> <p>国会・内閣・裁判所の仕組みと現実の姿</p>
2学期中間	<p>日本の政治機構</p> <p>現代社会の特質と課題</p> <p>現代の国際政治</p>	<p>地方自治について、その本旨・現状・課題</p> <p>選挙・政党、政治参加について</p> <p>マスメディアと世論形成</p> <p>国際関係と国際法(国際連合の機能と課題) 国際政治の動向と国際政治の課題</p>
2学期期末 (28)	<p>経済社会の仕組み</p> <p>日本経済の発展と課題</p> <p>労働と社会保障</p>	<p>資本主義経済の特徴・変容・発展 市場経済の特徴と現実の姿 金融・財政についての基礎知識 現代日本の抱える経済問題</p> <p>労働基準法/現代日本の雇用問題</p>
3学期 (16)	<p>労働と社会保障 労働と社会保障</p>	<p>社会保障制度と私たちの生活 社会保障制度と私たちの生活</p>
評価の 観点と 方法	<p>私たちの生きる現代社会を理解するために必要な政治・経済の知識が身についたか。 日常の授業で、現代社会がはらむ問題や課題を主体的に考え、学ぶ姿勢ができたか。 定期考査や課題に積極的に取り組み、一定以上の成果を挙げたか。</p> <p style="text-align: right;">以上の観点から総合的に評価を行う。</p>	

年間授業計画

科目名 (単位数)	政治経済(2)	教科書:政治・経済(東京書籍)
対象学年	3	副教材1:最新 図説 現社(浜島書店)
履修形態	選択	副教材2:
講座数	1	副教材3:
科目の目標	社会の仕組みや実際の姿を学ぶ よりよい社会を作っていくために、公民としての能力を高める 受験に必要な政治・経済の学力を身につける	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	現代の資本主義経済 現代経済のしくみ	資本主義経済体制の成立と発展 社会主義社会の登場とその後の変容 現代経済の特質 経済主体とその活動 国民所得・経済成長率など、国民経済を見る指標 資本の循環と金融のしくみ
1学期期末 (26)	日本経済の発展と課題 政治分野(必修)の補足	租税と財政 戦後の日本経済の発展 中小企業の現状と課題 農業・食料問題など現代の日本の抱える課題 資源エネルギー問題とは 物価の変動と消費者の生活 民主政治・日本国憲法・現代経済の仕組み
2学期中間	国民経済と国際経済 日本社会の諸課題	今日の貿易とその決済の仕組み 国際収支 世界の国々の経済対立、その様相と課題 国際社会におけるルール作り FTA・TPPなど直面する課題 小さな政府・大きな政府、地方分権
2学期期末 (28)	国際社会の諸課題 時事問題を学ぶ 時事問題を学ぶ	雇用環境の変化と社会的な課題 少子高齢化の中での政策のありかた 貧困と飢餓、貧富の格差の増大をどう考えるか 核軍縮・核拡散防止・核廃絶の課題 国際協力のありかた
3学期 (16)	全範囲についての演習	個別指導を行う。
評価の 観点と 方法	現代社会の仕組みを理解し、その抱える課題について、理解しうる知識が身についたか。 現代社会の抱える問題や課題を主体的に考え、主体的に学ぶ姿勢が身についたか。 定期考査や課題に積極的に取り組み、一定以上の成果を挙げたか。 以上の観点から総合的に評価を行う。	